

特集 IoT/5G時代における成長戦略



あらゆるモノをネットワークで結ぶ社会のメガトレンド「IoT/5G」。アンリツは、IoT/5Gを次の成長ドライバーとし、新しいビジネスの展開を通じて事業発展を加速します。さらに、IoT/5Gを最先端の技術で支えることで、安全・安心で豊かな社会の実現にまい進していきます。

常務執行役員
計測事業グループ
計測事業本部長

浜田 宏一

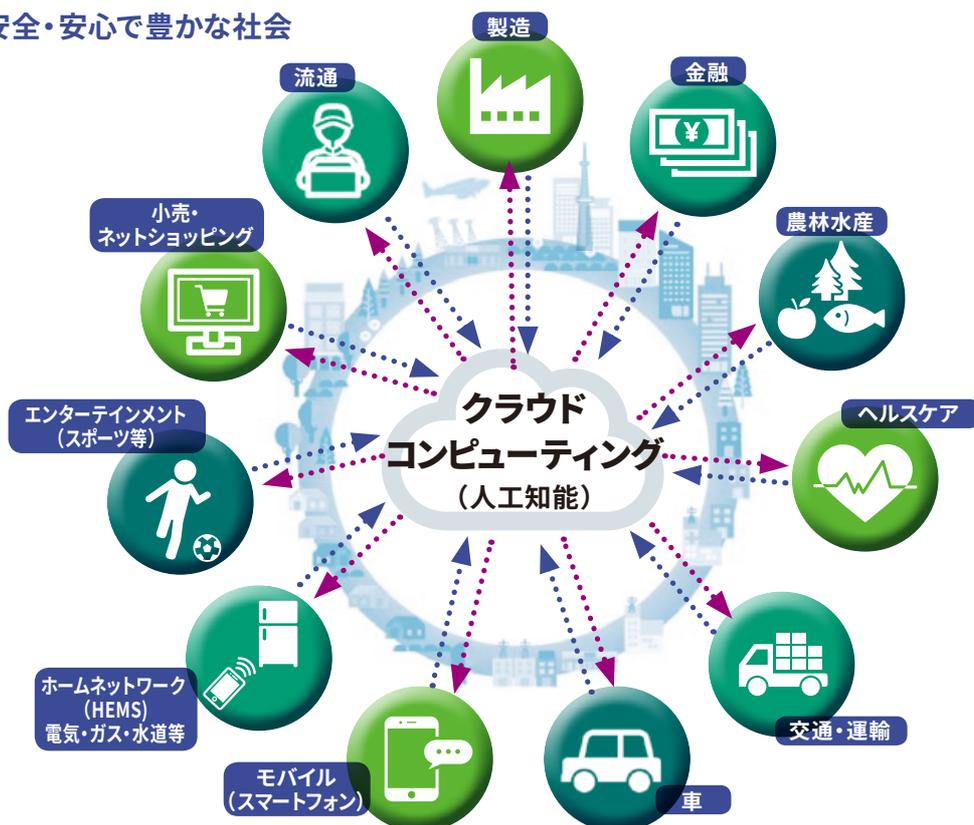
IoTを支える5G

ICT (Information and Communication Technology) の進展に伴い、スマートフォンのみならず家電製品や自動車等すべてのものがインターネットを媒介に接続されるIoT (Internet of Things) 社会が目前に迫っています。通信システムにおいても、IoTを支える5G (第5世代移動通信) 方式への移行が視野に入ってきました。例えば日本では、2020年の東京オリンピック・パラリンピックまでに通信環境を整備するという総務省の方針の下、5Gの実用化が加速しています。

IoTを支える5G方式では大量のデータを高速で送受信することが可能となり、無線通信が従来より高度化・高速化していきます。さらに、無線通信の領域だけでなく、自宅やオフィス内等の有線通信の領域においても通信を高度化しなければなりません。無線通信と有線通信の両方が機能を高めることで、あらゆるものをインターネットでつなぐIoTにとって最適なネットワークを形成することが可能になります。

当社のもつ、無線通信における確かな技術と長年培った有線通信での測定技術は、IoT/5Gの分野において必要不可欠な技術です。

IoTが築く安全・安心で豊かな社会



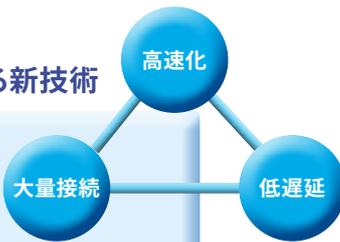
変化するビジネスモデル

5Gは現在主流の「LTE」の100倍の通信速度をもちます。また多くの人が同時にインターネットを使用しても通信が途切れない、データの応答時間が1000分の1秒になるといった進化があります。IoTの普及により5G商用化の時期は前倒しされると考えられ、通信を巡るビジネスの領域も今後大きく拡大していきます。

5GはIoT社会を支える新技術

5Gの特徴

- 毎秒10ギガビット
- 100万台/km²接続
- データの応答時間を1000分の1秒に



自動車の自動運転を例にとると、事故を防ぎ円滑に車を制御するためには高精度のレーダーが必要です。当社は2016年1月、数センチ、mm秒単位で物体を識別する車載レーダーの測定器を発売しました。

さらにIoTは、自動車のみならず、日常生活から医療まで生活のあらゆる場面をネットワークで結ぶ社会イノベーションの担い手ともいべき存在です。ホームネットワークの分野では、遠隔で家庭内の様々なモノを監視・操作することが可能になります。これは犯罪の防止やお年寄りの快適な生活環境の実現等、安全・安心で豊かな暮らしに結びつくものです。さらに、医療の分野では高精細な「8K」の中継画像を見ながら遠隔手術を行い、離れた場所にいる患者さんの命を救うことが考えられます。このようにIoTの利用分野が加速度的に拡大する中で、当社は今、大きな飛躍のチャンスを迎えています。

次世代通信環境における当社の役割

飛躍のチャンスを実確なものとするため、アンリツは、次世代通信環境において、幅広い業界のお客さまと新たなビジネスを展開していきます。

IoT/5Gによってもたらされる、安全・安心で豊かな社会をめざし、アンリツは、従来の強みを最先端領域へと展開することで、新時代のネットワーク、さらには人びとの生活に貢献していきます。

アンリツが提供するAutomotive Solution



*1 eCall/ERA-GLONASS：欧州・ロシアの車両緊急通報システムの名称。
*2 OTA：Over the Airの略で「無線通信を経由して」という意味。